

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

ながおさんじんごじ

長尾山神護寺

新高総早倉矢井浅里
見梁社島敷掛原口庄
市市市町市市町

笠岡市



場所

かきおか しこうの
・笠岡市甲弩



時代

かまくら じだい
・鎌倉時代



指定年月日

し せ き
・史跡：

しょうわ
昭和35(1960)年

12月26日

けん そう ぶつ
建造物：

へい せい
平成13(2001)年

3月23日



所有

しんごじ
・神護寺



し せ き

この史跡について

らいどういんじんごじ しんごんしゅうだいかくじはそくぎょうきほさつひらつた
来迎院神護寺は、真言宗大覚寺派に属し、行基菩薩が開いたと伝えられています。もとは「神宮
寺」と呼ばれていました。じんぐうじだいぼうちゅうぼうほんにやぼうしょうえんぼうちようふくぼうじようがくぼう
神宮寺は、大坊・中坊・般若坊・正円坊・長福坊・上学坊の六つの坊をも
つ大きな寺院でした。ながおさんだいぼうのここんにちじんごじ
長尾山には大坊だけが残り、今日の神護寺となりました。

げんざいじんごじけいだいていえんうつくとどのほんどうえいるく
現在、神護寺の境内は庭園として美しく整えられています。また、本堂は永禄11(1568)年に小
だたかきよさいけんかきおかしなimotoふるもくそうけんちくぶつおかやまけんじゅうようふんかざいし
田高清によって再建された笠岡市内で最も古い木造建築物で、岡山県重要文化財に指定されて
います。